

令和7年度

# 事業報告書

社会福祉法人 創和会 まろにえ四季の里

(1) 法人・施設概況

1、理事会・評議員会の開催状況

年 月 日	内 容
R7. 6. 4	第 1 回理事会
R7. 6. 23	第 1 回評議員会
R7. 6. 23	第 2 回理事会
R7. 9. 24	第 3 回理事会
R7. 10. 22	第 4 回理事会
R7. 11. 6	第 2 回評議員会
R7. 11. 26	第 5 回理事会
R8. 3. 25	第 6 回理事会

2、施設の概要

介護保険事業	定 員
介護老人福祉施設	70名
短期入所生活介護事業	10名
通所介護事業	25名
居宅介護支援事業	220名
小規模多機能型居宅介護事業所	29名

3、事業の変更、介護給付費の加算、増築・改修工事等

年 月 日	内 容
R7. 4. 17	施設西側道路口にミラー設置
R7. 5. 2	貯水槽給水配管バルブ交換工事
R7. 7. 1	通所介護事業の定員を20名から25名に変更
R7. 7. 2	2階南浴室リフト設置
R7. 7. 2	多機能ほーむ浴室西側目隠しフェンス設置（木製柵老朽化交換）
R7. 8. 1	職員給与及び源泉徴収の電子交付開始
R7. 8. 18	コストメンバー加入（職員福利厚生）
R7. 7. 23	エレベーター大規模修繕
R7. 7. 23	インターネットセキュリティ強化対策
R7. 9. 26	からまつ（ショートステイ）雨漏り修繕工事
R7. 10. 8	22階北側特殊浴槽入れ替え（競輪補助事業）
R8. 1. 9	多機能ほーむリフト付きシャワーキャリー導入

(2) 特別養護老人ホーム入居者の概況

1、入居状況

月	入居人数	月	入居人数	月	入居人数
4月	2	8月	3	12月	2
5月	2	9月	2	1月	2
6月	3	10月	2	2月	2
7月	2	11月	2	3月	2

※数値は各月末日時点

在宅 17 名、医療機関 4 名、介護老人福祉施設 0 名、老人保健施設 4 名  
 認知症対応型共同生活介護 0 名、特定施設入居者生活介護 1 名  
 介護医療院 0 名 計 26 名

2、退居状況

月	退居人数	月	退居人数	月	退居人数
4月	1	8月	1	12月	2
5月	3	9月	2	1月	1
6月	2	10月	2	2月	2
7月	3	11月	1	3月	4

※数値は各月末日時点

3、入居者介護度分布

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	要介護度 平均
4月	4	5	16	24	18	67	3.70
5月	4	5	16	24	19	68	3.72
6月	4	5	15	24	20	68	3.75
7月	4	5	13	26	20	68	3.77
8月	4	5	14	27	18	68	3.73
9月	4	5	15	26	19	69	3.73
10月	4	5	15	26	19	69	3.73
11月	4	5	15	25	20	69	3.75
12月	4	5	15	27	19	70	3.74
1月	4	5	15	26	19	70	3.68
2月	4	5	16	28	18	71	3.71
3月	4	5	16	28	18	71	3.71

※数値は各月末日時点

#### 4、入居者年齢分布

	男性	女性	合計	平均年齢	
60歳以上 65歳未満	0	0	0	男性	83.9
65歳以上 70歳未満	1	1	2	女性	88.1
70歳以上 75歳未満	0	3	3	全体	87.1
75歳以上 80歳未満	3	2	5		
80歳以上 85歳未満	7	8	15		
85歳以上 90歳未満	5	13	18		
90歳以上 95歳未満	3	14	17		
95歳以上 100歳未満	0	8	8		
100歳以上	0	3	3		

※数値は年度末日時点

#### (3) 医療体制

##### 1、協力病院

病院名	科 目
TMCしもつが	一般内科 一般外科 整形外科
獨協医科大学病院	内科部門 外科部門 中央部門
朝日病院	精神科 内科 神経科 心療内科 循環器内科 呼吸器科
田村歯科医院	歯科

##### 嘱託医 週2回健康チェック

医院名	科 目
関口医院	内科

##### 2、受診状況

病院名	通院者	入院者	通院回数 (往診含む)	備考
TMCしもつが	29	14	72	
獨協医科大学病院	2	0	15	
朝日病院	1	0	5	
TMCとちのき	11	1	78	
長井歯科	23	0	206	全て往診
畠山クリニック	1	0	3	
大平下病院	6	1	18	
のぞみ整形外科	1	0	5	
江口内科	1	0	12	
中野病院	1	0	12	
サンライズクリニック	1	0	4	
新小山市民病院	1	0	4	
自治医大病院	3	0	6	
高田クリニック	1	0	3	
西方病院	4	0	11	
なかつぼクリニック	1	0	6	

大山整形外科	2	0	8	
ちづかクリニック	1	0	6	
青木眼科	1	0	2	
平野整形外科	1	0	1	
中村耳鼻科	1	0	1	
みずほクリニック	2	0	7	
いわい町クリニック	1	0	1	

### 3、予防接種

#### インフルエンザ予防接種

接種日	接種人数(入居者)	接種人数(職員)
R7. 10. 29	0名	41名
R7. 11. 5	0名	48名
R7. 11. 2	28名	3名
R7. 11. 19	27名	1名
R7. 11. 26	1名	0名
合計	56名	93名

#### コロナワクチン接種

接種日	接種人数(入居者)	接種人数(職員)	備考
R7. 12. 3	20名	0名	職員については各 自の判断で接種の ため把握せず。
R7. 12. 10	19名	0名	
合計	39名	0名	

※肺炎球菌ワクチン接種者はいませんでした。

### 4、その他

◎マスク(入浴介助時は任意)着用し、手指消毒は継続。コロナウイルス感染時のルールとして自身が感染時は発症を0日として最低5日療養待機、同居家族感染時は発症日を0日として2日間待機(インフルエンザの場合、同居家族が陽性で本人に症状無く、生活空間が分けられる場合は出勤可能)し、施設内感染が原因であれば、法人から渡した検査キットで陰性確認後の出勤を徹底。

(4) 給食関係

1、給食関係事業実績

週間献立予定表(毎週)配布

2、給食委員会実施状況 12回/年 毎月開催

実施日	内 容
R7.4.8	4,5月の献立について。行事食のお知らせ。大型連休に伴う連絡
R7.5.13	5,6月の献立について。行事食のお知らせ。
R7.6.10	6,7月の献立について。行事食のお知らせ。経口補水液購入について。
R7.7.8	7,8月の献立について。行事食のお知らせ。かき氷の提供について。
R7.8.12	8,9月の献立について。行事食のお知らせ。食中毒予防の注意。
R7.9.9	9,10月の献立について。行事食のお知らせ。
R7.10.14	10,11月の献立について。行事食のお知らせ。給食業者の検討。
R7.11.11	11,12月の献立について。行事食のお知らせ。給食業者の検討。
R7.12.8	12,1月の献立について。行事食のお知らせ。年末年始に伴う連絡。
R8.1.13	1,2月の献立について。行事食のお知らせ。
R8.2.10	2,3月の献立について。行事食のお知らせ。
R8.3.10	3,4月の献立について。行事食のお知らせ。刺身提供についての検討。

3、行事食について

実施日	行事	献立名
R7.4月	お花見	桜ちらし寿司、絹揚げの煮物、サラダ、味噌汁
5月	端午の節句	オムライス、エビフライ、サラダ、スープ、メロンゼリー
	母の日	お赤飯、タラの煮付け、煮物、白菜の柚子和え、茶碗蒸し
6月	父の日	お赤飯、タラの煮付け、煮物、茶わん蒸し、マンゴー
	初夏のおやつ	クリームソーダ風ゼリー
7月	七夕	七夕そうめん、稲荷寿司、煮物、ピーチジュレ
	土用丑の日	ひつまぶし、炊き合わせ、きゅうりの酢の物、すまし汁
	夏のおやつ	かき氷
8月	夏祭り	焼きそば、お好み焼き、たこ焼き、フランクフルト
	夏献立	冷やし中華、かき氷
9月	敬老の日	きのこご飯、ほっけの塩焼き、煮物、大根の和え物、味噌汁
10月	ハロウィンおやつ	かぼちゃのフレンチトースト
11月	秋刀魚の炭火焼き	ご飯、サンマの炭火焼き、炊き合わせ、ナムル、すまし汁
12月	クリスマス	オムライス、グラタン、サラダ、ミネストローネ
	年越し	海老天そば、煮物、ほうれん草の和え物、杏仁フルーツ
R8.1月	お正月	お赤飯、おせち盛り合わせ
2月	バレンタイン	チョコレートプリン
3月	ひな祭り	ちらし寿司、煮物、茶わん蒸し、桃のフルーツ缶

#### 4、栄養摂取状況

2025 (R7) 年 4 月～2026 (R8) 年 3 月 まろにえ四季の里 給与栄養量

種類 月	エネルギー	蛋白質	脂質	鉄	レチノール当量	V. B1	V. B2	V. C	食塩相当量
	kcal	g	g	mg	μg	mg	mg	mg	g
4	1,599	60.4	49.5	8.3	763	1.55	1.07	121	6.9
5	1,596	59.7	47.9	8.0	832	1.40	1.05	120	6.7
6	1,590	60.7	48.5	8.1	748	1.37	1.24	114	6.6
7	1,575	58.8	47.3	7.6	820	1.24	1.14	144	6.7
8	1,577	60.6	47.9	8.2	775	1.33	1.09	127	6.8
9	1,552	57.9	46.9	7.6	827	1.41	1.13	117	6.7
10	1,572	59.8	46.9	7.8	786	1.30	1.05	117	6.8
11	1,551	61.8	46.7	8.1	818	1.30	1.15	121	6.9
12	1,559	61.3	48.2	7.7	814	1.33	1.15	112	6.9
1	1,568	62.3	45.6	8.2	817	1.35	1.08	112	6.9
2	1,567	61.1	47.1	7.8	884	1.32	1.12	116	6.9
3	1,556	60.1	45.8	8.0	845	1.35	1.19	108	6.9
合計	18,862	730.1	559.9	97.7	10,324	14.86	13.2	1,371	85.1
平均	<b>1,571</b>	<b>60.8</b>	<b>45.9</b>	<b>8.1</b>	<b>860</b>	<b>1.23</b>	<b>1.1</b>	<b>114</b>	<b>7.1</b>

〈前年度目標〉

- ・季節感のあるメニューやおやつを取り入れて、利用者に食事を楽しんでいただく。
- ・厨房職員全員が衛生管理を徹底し、安心して安全な食事を提供する。
- ・作る側も楽しく、ワクワクする仕事をしよう！
- ・個々の体調や状態に合わせ、多職種が連携して適切な栄養ケアを行う。

《全体の振り返り》

- ・毎月行事食や季節の食材を使用したお食事を提供し、食の楽しみを感じていただけるよう努めた。また、月1回の給食委員会を開催し、多職種で食事内容の検討を行うことで、より良い食事の提供を目指した。
- ・厨房衛生マニュアルを厨房職全員が徹底し、安全なお食事の提供に務めた。食中毒の発生や事故無く食事を提供することが出来た。
- ・利用者の皆様に喜んでいただく食事作りを目標に、厨房職員それぞれが明るい気持ちで仕事に励むことが出来た。
- ・ミールラウンドや担当者会議を通して、多職種協働でご利用者一人ひとりの体調や状態に合わせた食事内容・栄養ケアの検討を行った。

## (5) 防災

### 1、防火・避難訓練の実施

総合訓練、全職員による自主避難訓練などを実施

日時	参加職員	内容
R7. 5. 20	事務・からまつ・なでしこ・やまぶき・かりん・もくれん・あしたば・医務・多機能デイ、厨房	総合訓練（消防立ち合い）
R7. 7. 29	事務・からまつ・なでしこ・やまぶき・かりん・もくれん・あしたば・医務・多機能・デイ	BCP 訓練（夜間帯地震想定）
R7. 9. 17	事務・からまつ・なでしこ・やまぶき・かりん・もくれん・あしたば・医務・多機能デイ、厨房	夜間招集訓練
R8. 1. 27	事務・からまつ・なでしこ・やまぶき・かりん・もくれん・あしたば・医務・多機能デイ、厨房	総合訓練
R8. 3. 26	事務・からまつ・なでしこ・やまぶき・かりん・もくれん・あしたば・医務・多機能デイ、厨房	BCP 訓練（感染症発生時）

## (6) 研修・勉強会

### オンライン配信研修

- ・倫理、法令遵守の理解・・・11名
- ・医療と介護におけるリスクマネジメントを考える1・・・22名
- ・虐待を起ささないための基礎研修①・・・32名
- ・不適切なケアとスピーチロックへの対策・・・26名
- ・ヒヤリハット、事故報告書と分析・・・21名
- ・衛生管理と高齢者の健康管理・・・18名
- ・明日から実践できるシーティング実践セミナー・・・14名
- ・感染症BCP対策、事業形態別のBCPの特徴・・・10名
- ・感染予防に向けた体制作り・・・12名
- ・精神的ケア～人はココロで動いている・・・11名
- ・認知症を理解し、ケアを考える・・・27名
- ・「ごめん」と「ありがとう」が、いいチームのバロメーター・・・13名
- ・虐待防止の正しい理解・・・24名
- ・ハラスメントの構造と定義・・・20名

### 対面研修（全体）

- ・感染症及び食中毒対策セミナー・・・10名
- ・環境衛生と手洗い・・・8名
- ・吐物処理・・・11名

### 対面研修（個別）

- ・高齢者を取り巻く現状と課題
- ・それぞれの立場で考えるACP

- ・社会福祉施設中堅職員研修会
- ・効果的なPRを行うための広報力のあり方を学ぶ
- ・口腔ケア研修会
- ・社会福祉施設指導監督職員研修会
- ・負担の少ない移動、移乗介助講座
- ・職場内のメンタルヘルス対策
- ・相談技術研修会
- ・在宅サービス事例発表会
- ・認知症基本法と新しい認知症観について
- ・リスクマネジメントの実効性を高める組織づくり
- ・～不満を信頼に変える～実践できる苦情対応のコツ
- ・施設における看取りについて
- ・パーキンソン病患者、家族会 リハビリテーション相談会
- ・感染症コーディネーター フォローアップ研修会
- ・アンガーマネジメント講座「怒りと上手に付き合う自分になろう」
- ・社会福祉施設職員のためのコーチング研修
- ・認知症ケアを振り返る

#### (7) 会議・研修・ボランティア

##### 〈会議〉

- |               |     |
|---------------|-----|
| ・ユニットリーダー会議   | 12回 |
| ・ユニット会議       | 12回 |
| ・運営会議         | 12回 |
| ・身体拘束廃止委員会    | 4回  |
| ・虐待防止委員会      | 4回  |
| ・感染防止対策委員会    | 4回  |
| ・事故防止対策委員会    | 4回  |
| ・褥創予防対策委員会    | 4回  |
| ・喀痰吸引等業務安全委員会 | 4回  |

#### (8) 面会者・実習生・研修受け入れ

##### 〈面会者〉

	延べ人数		延べ人数	
R7/ 4月	108	10月	106	
5月	110	11月	118	
6月	153	12月	106	
7月	116	R8/1月	114	
8月	104	2月	91	総合計
9月	102	3月	125	1,353

##### ◎新型コロナウイルス流行のため実施した面会制限について

- ・令和7年4月1日～居室での面会再開。14時～15時半の時間帯で予約制。面会期間は入居者1人につき1週間に1回。
- ※れんげユニットのみ、昨年末からの胃腸炎発生により4月6日まで面会禁止。利用者の状態に応じて面会頻度や時間外の受け入れ調整を実施。

〈実習生・研修受け入れ〉

・獨協医科大学看護学部	4年生	15名
	2年生	8名
・東陽中学校職場体験	2年	3名
・プラスワーク		3名

(9) 外出・理美容・地域交流サービス

1、外出・イベント（ユニット毎の企画）（買い物は適宜対応）

日時	場所	日時	場所
4月	花見外出、ユニット内食事イベント	10月	誕生日の方用にイベント食提供、ハロウィンパーティー
5月	昼食ユニット手作り、花センター外出、	11月	紅葉狩り
6月	昼食ユニット手作り、あじさいドライブ	12月	焼き芋提供
7月	七夕飾りづくり、かき氷提供	1月	初詣のため外出、ユニットごとの新年会
8月	夏祭り、手持ち花火	2月	豆まき
9月	敬老の日プレゼント提供、ミニ運動会	3月	ひな祭り

2、理美容サービス

月	人数	月	人数
R7/4月	39	10月	37
5月	22	11月	32
6月	39	12月	42
7月	39	R8/1月	30
8月	20	2月	30
9月	47	3月	43

3、地域交流

・ボランティア受け入れを再開し、歌や演奏訪問の他、公民館やその他地域の祭りにも外出して参加。昨年度と比べ地域との関わりが少しずつ増えてくるようになった。

(10) 短期入所生活介護事業

月	利用者数	延べ利用人数	稼働率 (空床含む)	稼働率 (空床抜き)
R7/4月	38	345	115%	87%
5月	37	372	120%	86%
6月	41	398	132%	93%
7月	45	453	146%	96%
8月	41	327	105%	86%
9月	47	349	116%	96%
10月	39	309	99%	88%
11月	37	247	82%	76%
12月	36	238	76%	73%
R8/1月	45	270	87%	82%
2月	37	261	93%	84%
3月	42	310	100%	88%

※数値は各月末日時点

年間入所者延べ人数 3,879名  
 年間平均稼働率 105% (空含)  
 86% (空抜)

(11) 通所介護事業

月	利用者数	延べ利用人数	稼働率
R7/4月	41	367	66%
5月	42	394	73%
6月	43	361	72%
7月	47	419	62%
8月	48	393	60%
9月	48	431	66%
10月	50	440	65%
11月	54	452	72%
12月	54	500	80%
R8/1月	54	483	80%
2月	56	476	79%
3月	52	497	76%

※数値は各月末日時点

年間入所者延べ人数 5,213名  
 年間平均稼働率 70%

## (12) 居宅介護支援事業

### 介護度別稼働推移

	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
R7/4月	1	17	44	58	54	23	16	8	221
5月	1	18	44	56	54	22	17	7	219
6月	1	18	46	58	52	21	17	8	221
7月	1	21	46	57	54	22	15	8	224
8月	1	19	44	59	55	23	16	8	225
9月	1	18	48	54	52	23	16	8	220
10月	1	20	48	59	51	26	17	9	231
11月	1	21	48	61	55	26	16	9	237
12月	1	25	50	58	57	26	15	8	240
R8/1月	1	25	49	60	55	25	15	7	237
2月	4	28	54	55	51	19	12	9	232
3月	4	28	36	52	47	14	14	10	205
合計	18	258	557	687	637	270	186	99	2712

～各部署からの報告～

#### 【法人】

感染対策を継続しながら面会含め、ボランティア受け入れや地域行事の参加など外部との関わりは以前より増え、はじめは変化に戸惑いや不安を感じる部分もあったが少しずつコロナ以前の対応を思い出し、外部との関わりが増えたことによる感染拡大も無く経過し、次年度以降のさらなる緩和に向けた体制構築につなげていくことができた。

居宅介護支援事業所の担当ケース増加が自住宅サービスの稼働向上に寄与しており、特に通所介護事業が全国的に稼働低下による運営難のなか、登録者数が増える結果となり、定員数を20名から25名へ増員したうえで平均70%の稼働を達成することができた。

施設開設から20年が経ち、各部の老朽化が目立つようになってきた。耐久や耐用年数から機器や消耗品については適宜入れ替えを行っているが、給水管の漏れや破損など水回りのトラブルが非常に多くなり、事業運営の支障が出来る限り出ないように調整しながら修繕工事を実施していった。

#### 【働き方改革】

各リーダー及びサブリーダーを中心にユニット内の方向性を統一し、エリアマネージャー（ケアマネージャー）と連携・共有したうえで利用者・家族の意向を反映したケアプランを作成。それに基づくケアを提供すると同時に、スタッフの働きやすさを意識した柔軟な勤務調整と業務の適正化に努めた。残業についてはスタッフや利用者の入れ替わりによる指導育成、新規入居後の生活状況把握等により超過勤務が発生する事もあったが、最大でも20時間を超えることは無かった。残業が発生しないユニットもあったが、配置人数に対する勤務状況とケアの質の最適なバランスについては、最

適な形を今後も模索していく必要はある。

有給休暇の取得（年5日以上）は82.6%と昨年度の92.4%を下回る結果となり、要因としては一時的な人員減により取得する機会が減ってしまったことが挙げられる。

スタッフの福利厚生では冷凍食品の低価格販売に加え、今年度はコストコの法人会員加入を追加することで仕事に対するモチベーションアップを図った。

ICTの推進では、以前より導入している見守りシステムを年度内の補助事業不採択により導入に至らず、目標に対して課題の残る結果となってしまった。

#### 【職員研修計画】

※内部研修：毎月行っているオンライン研修に加え、法定研修である吐物処理やBCPなど計画的に実施した。

喀痰吸引研修の受講者はいませんでした。

採用時研修に感染症対策・看取りに関する内容を充実。

※外部研修：各職種、経験年数に応じて選定し、外部の研修に参加。今年度のユニットリーダー研修については参加者はおらず、来年度以降の参加調整を予定。

委員会（身体拘束・虐待防止・事故防止・感染症対策・喀痰吸引・褥瘡予防）について、それぞれ担当を選任し、開催を3か月に1度に変更。今までと異なり担当が掛け持たず、開催も3月に1度とすることで、内容の充実化を図った。

#### 【職員の健康管理】

定期健康診断、腰痛検査、コロナワクチン接種、インフルエンザワクチン接種、メンタルヘルス相談等を行った。

#### 【防災】

〈前年度目標〉

- ・新たな職員間の緊急連絡ツールを用いて、全職員へ連絡事項を迅速に伝達できるようにしていく。
- ・災害発生時の施設内各事業所を利用されている方及びスタッフに必要な備蓄品、非常食を、看護師、管理栄養士と連携し確保していく。

〈達成状況〉

法人内の緊急連絡ツールとして『チャットワーク』を導入。災害だけでなく、感染拡大や急を要する全体連絡で活用。非常用備蓄の見直しを行い、スペースの問題から食事関係の不足が補充出来ていなかったが他空間含め再度整理し、1日分の追加補充を実施した。

昨年度に実施した小規模多機能事業所の非常用発電補助事業に次いで今年度は本体施設の補助事業を申請。来年度事業として採択を受けたため、導入設置に向け進めていく。

地域住民との連携がいまだ課題となっている状況であるが、コロナウイルスに対する制限が緩和されてきており、地域との関わりが増えてきたため、次年度に自治会と協議の機会を設けていきたい。

#### 【各ユニット】

〈前年度目標〉

なでしこ

- ・入居者一人ひとりの状態や希望に応じた個別ケアプランをもとに、その実施を通じてQOLの向上を目指す。
- ・入居者が自分で出来ることを維持、向上できるようリハビリテーションや日常生活の支援を行う。
- ・日常の生活の中での自己決定を促す。入居者に選択肢を提供し、一人ひとりの意思

を尊重する。

もくれん

- ・ケアの統一と入居者に寄り添った質の高いケアを提供する。
- ・入居者と積極的にコミュニケーションを図り、その方の想いや体調の変化に気付けるようにする。

あしたば

- ・入居者の生活や決定を尊重する働きかけをする。
- ・職員間の情報共有に努め、他職種と相談しながらケアにつなげていく。

かりん

- ・入居者が幸せに過ごせる環境づくりを行い、思いやりをもったケアをする。
- ・職員同士の報連相をしっかり行い、一人ひとりが自己主張だけでなく相手の意見を聞き、否定的ではなく肯定的に物事を判断していく。

やまぶき

- ・定期的にイベントを行い、季節の移ろいを感じていただく。
- ・思いやりの心を大切にし、居心地の良いユニットづくりをする。
- ・報連相を確実にし、ケアの統一に努める。

れんげ

- ・その人らしさを念頭に置いた個別ケア。
- ・自立支援に向けた機能訓練。
- ・利用者様、職員、互いに負担の少ないケアの組み立て。

なのはな

- ・外出の機会を増やし、買い物など入居者が好まれる支援を行う。
- ・他の職種と連携を行い、過ごしやすい環境づくりをする。

<達成状況>

なでしこ

- ・近隣への買い物を通じて、入居者の社会交流の場を提供することができた。外出によりストレスが緩和されたのか、日頃感情が高ぶる傾向の方も、その後しばらくは穏やかな生活を送ることができた。
- ・個別機能訓練の項目を中心に、日々の集団体操や日常動作における機能訓練を職員一人ひとりが意識して行うことができた。できることは本人にやらせようことで、職員の介護負担の軽減につながった。
- ・入居者自身の体調に支障をきたさない範囲での自己決定を尊重するため、食べたくない時は無理に介助せず、時間を置いて対応した。入浴の拒否があった際は日を改める等、当たり前のことを当たり前にできるよう努めた。

もくれん

- ・定期的なユニット会議を開催し、生活課題や情報の共有、ケアの振り返りや統一を行えるようになり、今まで以上に入居者に寄り添ったケアを提供できるようになった。
- ・業務優先になってしまい、コミュニケーションを図ることや、入居者の方の変化に気付くことが遅くなってしまう事もあった。

あしたば

- ・入居者の話を傾聴し、どんな対応が適切なのかその場で話し合い、方向性を決めていくことができた。
- ・気になることや変化など、気付いたことは医務やケアマネに伝えてアドバイスを受けるなどした。ユニットスタッフが家族に伝えたこと、家族から聞いたことなども必要なら報告をした。

かりん

・入居者の環境づくりと思いやりをもったケアをする点では、職員のペースで物事を決めるのではなく、入居者の意思を尊重したケアをした。例えば本人の希望により盛大に誕生会日会をしたい要望を実現した。また、夜間等のオムツ対応から本人の意向に合わせ随時リハビリパンツに変更し、夜間トイレへ行けるようにする他、更に気が変わったタイミングでオムツに変更したりと柔軟に対応した。就寝時についてもテレビを21時まで見たい希望がある方にはその希望に応え、就寝時薬の時間を調整するなどした。

一方で、環境づくりという点ではあまり工夫を施せず、いつもと変わらない日常・環境だったことは否めず、今年度は環境づくりも念頭に行動していきたい。2番目の目標では、報連相を前より入念に行えるよう申し送りノートを改良した。入居者一人ひとりに朝・昼・夕と記入欄を設ける工夫をした。

また、人の意見を肯定的に捉える点では十分にその気持ちをもって仕事ができたと自負する反面、肯定的になりすぎて意見が分かれた際に、決断力が鈍っていたようにも感じる。間をとった結論になりがちで、ケアの統一が図りきれなかった部分もあった。話し合いの場においても否定的にならないような言葉選び、相手の挙動・表情・声色等々、余計な事ばかり考えていることが多く、もう少し自然な振る舞いが今後の課題となった。

やまぶき

・お花見、イチョウを見に出かけた他、利用者様と餃子づくりやおやつレクなど、季節に合わせた行事を定期的に取り入れることができた。

・定期的なユニット会議、申し送りノートに変更点や状態の変化などをまとめ、ケアについて悩んだら他職種に相談する等を徹底した。

・働きやすく明るい雰囲気づくりを心掛けた。普段からコミュニケーションをしっかりととり、利用者様・職員共に相談したいときに相談しやすい環境を整えた。

れんげ

・皆様、意思表示の出来る方だったので、一つひとつのケアにご本人の意向を反映することができていた。

・機能訓練を意識した場面では、ご本人が可能な動作を介助し過ぎないことで残存機能の維持に繋げることができた。体操は日課として行うことができるようになったが、積極的な取り組みを行うには至らなかった。

・浴室の利用に自由がきくこともあり、効率よく曜日のスケジュールを立てることができた。細かい部分の調整は都度見直しを行いながら、より良い方法を模索し続けていった。

なのはな

・買い物頼まれたので「一緒に行きませんか」と声をかけるも、断られてしまった。

・季節にあった外出を声掛けすると、「寒くて」と初詣は行けなかったが、お花見は行ける方が出かけ、「綺麗だった」「良かった」と笑顔が見られた。

・ベッドを処置のため変更したが、本人が納得せず相談した結果、本人の意向に沿うよう調整しながら変更することができた。

## 【医務】

〈前年度目標〉

- ・感染対策、予防に努め、蔓延防止ができる。
- ・利用者の健康の保持、増進を図り、異常や体調不良の早期発見につなげていく。
- ・多職種と協働しながら安全、安楽を考慮した生活を支援し、個別性を踏まえたケア

を行う。

- ・職員が心身ともに健康で働きやすい職場環境を整えていく。

〈達成状況〉

- ・感染対策及び予防に継続的に取り組んだ結果、施設内での感染症の発生を最小限に抑え、蔓延防止を図ることができた。職員間での対応のばらつきが見られるため、マニュアルの再確認及び定期的な研修の実施により、対応の統一を図る必要がある。
- ・日常観察は実施できているが、記録や情報共有に課題があるため報告体制の強化により、異常の早期発見につなげていく必要がある。
- ・多職種協働による支援体制のもと、安全で安楽な生活環境の確保に努めるとともに、個別性を重視したケアを継続的に実施することができた。
- ・働きやすい環境づくりに取り組んでいるが、業務負担の偏りや心身の疲労の蓄積が課題である。

#### 【短期入所生活介護事業】

〈前年度目標〉

- ・季節ごとに楽しんでいただけるイベントの計画を立て、少数での対応も含め食事会や買い物も実施していく。
- ・安心、安全に過ごしていただき、ADL低下が防げる支援に努める。
- ・生産性向上に基づく見守りシステムの効果的な活用を習慣化し、安眠や事故防止などの安心とスタッフの負荷の軽減を両立する。

〈達成状況〉

- ・季節ごとのイベントは計画通りにいかず、外出は2回だけ何とか急な調整で実施できた。(夏：あじさいドライブ・秋：紅葉ドライブ・おやつ外食) 少人数での食事会を検討していたが、利用者様の介護度の変化やスタッフの都合等あり、対応が出来なかった。
- ・安心して過ごしていただけるよう各スタッフの配慮対応あり、新規のリポートにつながっている。ADL低下予防は体操等リビングで実施できる工夫をし、積極的に支援した。介助し過ぎないように、声掛けの工夫で、残存機能の維持に努めた。
- ・システム活用の習慣が以前より身についてきたが事故も数件あり、効果的な使用には今一步であった。都度の設定や携帯し忘れない習慣が必要。

#### 【通所介護事業】

〈前年度目標〉

##### 1 個別ケアや機能訓練の質を高める

- ・利用者の状態を把握し、活動を通して生き甲斐を感じられるようにする。
- ・リーダー、サブリーダーの連携を確立し、利用者及び職員の関係性が円滑になるよう努める。

##### 2 環境を整え、安全で快適に過ごしていただく

- ・感染対策を継続し、環境衛生に努める。
- ・利用者様の口腔ケアを継続し、感染予防に努める。

〈達成状況〉

- 1 個別ケアや機能訓練の質を高めることができなかった。質を高めるため、プランの見直しが必要にて、今後行っていく。
- 2 利用者様が安心して過ごせしていけるよう、感染予防対策は行っていた。

## 【居宅介護支援事業】

### 〈前年度目標〉

#### 1 利用者サービスのさらなる充実。

- ・利用者の重度化防止、自立支援を目的に他職種連携を強化し、適切なケアプランの作成を推進する。
- ・家族支援にも注力し、介護者の負担軽減を図るとともに、介護予防に関する情報提供を強化する。

#### 2 他事業所との連携強化と地域包括ケアの推進

- ・介護支援連絡協議会や地域包括支援センターとの連携をさらに強化し、地域全体で支える体制を構築する。
- ・他事業所との情報共有を活性化させ、事例検討や研修の参加を増やすことでケアの質を向上させる。

#### 3 生産性のさらなる向上と業務効率化

- ・ケアマネジメント業務の標準化と効率化を進め、業務負担の軽減を図る。
- ・タスク管理の強化により時間内に業務を終え、ケアマネージャーがより利用者支援に専念できる環境を整える。

#### 4 事業収益の向上と経営基盤の強化

- ・適切なケアプランの作成、実施を通じて適正な報酬請求と収益向上を図る。
- ・関係機関と連携し、新規利用者の獲得を推進するとともに、利用者満足度の向上に努める。
- ・人材育成を強化し、職員のスキルアップを支援することで、質の高いケアマネジメントを提供し、事業の安定運営を目指す。

### 〈達成状況〉

- ・適正なアセスメントとケアプラン作成を徹底し、算定要件の確認と請求業務の精度向上に努めた。収益面においては安定した実績を維持することができた。また、関係機関との連携強化により新規利用者の紹介数も一定数確保でき、利用者数の安定につながった。利用者満足度向上のため、迅速な対応と丁寧な説明を心掛けたことが継続利用にも寄与している。人材育成については、研修の参加を推奨し、スキルアップにつながったが、新人職員の教育体制を整えることが出来なかった。今後の大きな課題となった。

## 【小規模多機能型居宅介護施設】

### 〈前年度目標〉

- ・小規模多機能型居宅介護事業所として地域の知名度と信頼を深め、新規利用者を獲得して、既存利用者の登録終了を防ぎ登録者を増やす。
- ・ご家族や地域の関係機関・医療機関との連携を図り、感染症の拡大や体調悪化を防いで、利用者が地域の中で、その人らしい生活を送れるように支援する。
- ・訪問や認知症ケア・余暇活動を充実し、感染対策を行いながら出来る範囲で楽しめる活動や外出により筋力・体力低下を防ぎ、利用者家族の満足度を上げる。
- ・記録から状態変化や原因・対策を共有し、見守り機器などの ICT を活用して、安全確実な介護により危険予測や事故防止に努める。
- ・介護や地域のイベント・勉強会に参加して、地域交流や研鑽に努める。
- ・言葉遣いやプライバシー・個人情報や物品の取り扱いに注意して、利用者の尊厳を守り、失礼のない親切丁寧な態度で接する。

### 〈達成状況〉

- ・小規模多機能型居宅介護事業所として運営推進会議の開催や地域と協働で開催する

ルピナスカフェの手伝い、地域住民との福祉座談会への参加等を通して知名度の向上に努めた。

- ・新規利用者の獲得は、新規利用打診数の減少に伴い病院や包括などへの営業活動が単発となり新規利用者が減少し、登録者数を増やすことが出来なかった。

- ・ご家族や地域の関係機関・医療機関との連携を図り、感染症の拡大や体調悪化を防いで、利用者が地域の中でその人らしい生活を送れるように 24 時間の緊急訪問や通い、泊りの柔軟な調整を行った。

- ・訪問体制強化加算の算定により、訪問支援を充実させて認知症ケア・余暇活動や機能訓練、感染対策を行いながらできる範囲で楽しめる活動や外出により、筋力・体力低下を防ぎ、利用者家族の満足度向上に努めた。

- ・記録から状態変化や原因・対策を共有し、見守り機器などの ICT を活用して安全確実な介護により、危険予測や事故防止に努め事故件数が減少した。

- ・介護医療連携推進事業や介護支援専門員事例検討委員会、認定審査会への参加の他、大宮公民館まつりに作品の展示参加や利用者と一緒に地域イベントに参加して、地域交流に努めた。

- ・職員全員がオンライン配信研修を計画的に視聴したり、職員会議で研修の内容を周知したり認知症や介護技術の研鑽に努め、職員の質の向上に努めた。

- ・言葉遣いやプライバシー・保人情報や物品の取り扱いに注意していたが、利用者の物品を紛失したり、利用者宅の物品を壊して弁済する事案が発生してしまった。

- ・利用者の尊厳を守り、失礼のない親切丁寧な態度で接することができるように努めたが、一部の利用者や家族からご意見や要望をいただき、対応を改めることがあった。

令和7年度

# 事業報告書

社会福祉法人 創和会 かぬま四季の里

## (1) 施設概要

### 1. 概況

介護保険事業	定員
介護老人福祉施設	70名
短期入所生活介護	10名
認知症対応型(介護予防型)通所介護	12名
居宅介護支援	70名

### 2. 建築改修工事

R7.4.1	SPD(サージ保護デバイス)新設工事(有限会社小太刀電設)
R7.4.7	給湯器室外機配管修理(東京冷機工業株式会社)
R7.5.7	公用車(キャラバン)ルーフ修理・塗装(亀田自動車株式会社)
R7.5.12	施設内芝生整備
R7.5.26	あおい食洗機修理(パナソニックマーケティングジャパン株式会社)
R7.6.10	各ユニット浴室タイル補修工事(環境開発株式会社)
R7.6.10	厨房床塗装工事(ホシザキ北関東株式会社)
R7.6.11	かえで全自動洗濯機購入(アマゾンジャパン株式会社)
R7.6.17	つぐみ居室床マットレス整備
R7.7.1	ワックス塗布、エアコン・換気扇清掃(環境開発株式会社)
R7.7.18	事務所前及びせきれいトイレ修理
R7.7.25	給湯器水漏れ修理(東京冷機工業株式会社)
R7.7.29	消防設備保守点検(佐藤商事株式会社)
R7.8.6	厨房床補修工事(ホシザキ北関東)
R7.9.1	あさのはトイレ水栓修理
R7.9.8	厨房事務室及び宿直室エアコン交換工事(株式会社コジマ)
R7.9.16	給湯燃転工事及びガス設備新設工事(株式会社ミツウロコヴェッセル)
R7.9.17	ベランダ側面外壁塗装工事(株式会社エレフォン)
R7.9.18	給湯器水漏れ修理(東京冷機工業株式会社)
R7.9.20	せきれい、かえで、ひいらぎ居室スライドドア修理
R.7.9.25	デイサービスシャワーキャリー購入(パナソニックエイジフリーショップ)
R7.9.26	公用車(キャラバン)車検(亀田自動車株式会社)
R7.9.29	ひいらぎ居室ガラス交換(環境開発株式会社)
R7.10.17	給湯器交換工事(株式会社ミツウロコヴェッセル)
R7.10.24	公用車(タント)点検修理(亀田自動車株式会社)
R7.10.25	施設内各所天井埋込型照明(楽天)
R7.10.25	つぐみ食洗器修理(パナソニックマーケティングジャパン株式会社)
R7.11.4	1階渡り廊下柱の補修工事(環境開発株式会社)
R7.11.6	スチームタンク交換、全自動軟水器取付工事(タニコー株式会社)
R7.11.30	ネットワーク設定およびカメラ接続工事(株式会社RECTO)
R7.12.2	つぐみ入口防寒カーテン取付工事(株式会社エレフォン)
R7.12.9	公用車(タント)車検(亀田自動車株式会社)
R7.12.25	さくら食洗器修理(パナソニックマーケティングジャパン株式会社)
R8.1.1	公用車(N-BOX)購入(株式会社ホンダモビリティ北関東)

R8. 1. 5	給湯器ポンプ取替工事（株式会社川本製作所）
R8. 1. 5	公用車（青ラクティス）車検（亀田自動車株式会社）
R8. 1. 7	公用車（銀ラクティス）車検（亀田自動車株式会社）
R8. 1. 9	給湯器部品交換（日本キャリア株式会社）
R8. 1. 9	厨房スチームコンベクションオープン修理（タニコー株式会社）
R8. 1. 14	デイサービストイレセンサー設置（廣田商事株式会社）
R8. 1. 21	せきれい・ひいらぎエアコン交換工事（株式会社コジマ）
R8. 1. 27	居宅事務所新設用各種工事（株式会社エレフォン）
R8. 1. 28	厨房真空包装機ドアダンパー修理（ホシザキ北関東株式会社）
R8. 1. 29	公用車（水色ラクティス）車検（亀田自動車株式会社）
R8. 1. 30	消防設備保守点検（佐藤商事株式会社）
R8. 2. 2	デイサービス、あおいトイレ修理
R8. 2. 3	公用車（タント）車椅子固定用ウィンチ修理（亀田自動車株式会社）
R8. 2. 5	公用車（エッセ）車検（亀田自動車株式会社）
R8. 2. 10	電話機増設工事（藤田ソリューションズ株式会社）
R8. 2. 16	1F 特浴すべり止めマット整備
R8. 2. 18	給湯器点検作業（日本キャリア株式会社）
R8. 3. 4	せきれい衣類乾燥機設置
R8. 3. 11	デイサービスシャワーカーテン設置

（２）特別養護老人ホーム入居者の概況

1. 入居状況

月	入居人数	累計	月	入居人数	累計	月	入居人数	累計
4月	67名	1941	8月	62名	1991	12月	59名	1796
5月	66名	2060	9月	63名	1883	1月	57名	1788
6月	65名	1943	10月	59名	1919	2月	57名	1625
7月	65名	2053	11月	58名	1783	3月	55名	1693

※数値は各月末日時点

2. 退去状況

月	退去人数	月	退去人数	月	退去人数
4月	1名 (1)	8月	4名 (2)	12月	1名 (1)
5月	2名 (2)	9月	1名 (1)	1月	4名 (2)
6月	1名 (0)	10月	5名 (2)	2月	2名 (1)
7月	2名 (1)	11月	2名 (1)	3月	6名 (4)

◆（ ）内の数字は、施設内で看取った方の数 ※数値は各月末日時点

◆退去総数 31名 看取り人数 18名 看取り介護率 58%

看取り介護死因内訳（老衰）94%

### 3. 入居者介護度分布

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	要介護度 平均
4月	0	1	15	37	14	67	3.96
5月	0	1	14	37	14	66	3.97
6月	0	1	12	38	14	65	4.00
7月	0	0	13	38	14	65	4.02
8月	0	0	15	35	12	62	3.95
9月	0	0	17	34	12	63	3.92
10月	0	0	14	34	11	59	3.95
11月	0	0	13	34	11	58	3.97
12月	0	0	12	36	11	59	3.98
1月	0	0	11	35	11	57	4.00
2月	0	0	11	35	11	57	4.00
3月	0	0	10	34	11	55	4.02

※数値は各月末日時点

### 4. 入居者年齢分布

	男性	女性	合計	平均年齢	
				男性	女性
65歳未満	1	1	2	男性	80.36歳
65歳以上70歳未満	0	0	0	女性	88.54歳
70歳以上75歳未満	2	2	4	全体	86.45歳
75歳以上80歳未満	3	2	5		
80歳以上85歳以上	4	6	10		
85歳以上90歳未満	1	6	7		
90歳以上95歳未満	3	14	17		
95歳以上100歳未満	0	9	9		
100歳以上	0	1	1		
合計	14	41	55		

※数値は年度末日時点

### (3) 医療体制

#### 1. 協力医療機関

病院名	科目
上都賀総合病院	内科、精神科、小児科、外科、形成外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科
鷺谷病院	整形外科、循環器内科、麻酔科、ペインクリニック内科、内分泌代謝科、リハビリテーション科、リウマチ科、アレルギー科、外科アレルギー科、脳神経外科、消化器内科、一般内科、放射線科、皮膚科
小林歯科	歯科医院
やすかずCharm歯科	歯科医院

◆嘱託医（週2回健康チェック）

医 院 名	科 目
はしもとクリニック	内科、循環器科、アレルギー科

2. 受診状況

月	通院回数（人）	月	通院回数（人）
R7/4	37	10	36
5	43	11	25
6	37	12	21
7	47	R8/1	29
8	32	2	24
9	32	3	32

◇嘱託医（週2回健康チェック）： はしもとクリニック：橋本 徹先生

◇入居者かかりつけ医療機関：上都賀総合病院、西方病院、御殿山病院、獨協医科大学病院、大谷クリニック、とちぎメディカルセンターとちのき、とちぎメディカルセンターしもつが、鹿沼病院、鹿沼脳神経外科、細川内科外科、細川眼科、細川耳鼻咽喉科、藤沢皮膚科、あきばクリニック、かぬま皮膚科、大井田医院、西方歯科、かぬま泌尿器科、金子医院、鹿沼整形外科、椎名整形外科、シンフォニー病院、いちだクリニック、早乙女歯科往診

◇歯科往診：早乙女歯科：15回 やすかずチャーム歯科：63回

◇感染症発生状況

- ・インフルエンザ陽性 入居者0名 職員9名
- ・コロナ陽性 入居者11名 職員14名
- ・ノロウイルス、O-157などの発生はありませんでした。

◇その他

- ・健康診断実施 2025年11月4日、2026年3月27日
- ・ワクチン接種について

◇インフルエンザ予防接種 2025年10月28日～11月21日

◇コロナウイルス予防接種 9回目 2025年11月25日～12月2日

#### (4) 給食関係

1. 給食関係事業実績 週間献立予定表 (毎週)

2. 給食委員会実施状況 12回/年 毎月開催 (毎月第2火曜日)

実施日	内 容
4/8	<ul style="list-style-type: none"><li>・5月の献立について</li><li>・食事数変更の締切</li><li>・食中毒について (発生状況、予防)</li><li>・脱水について</li><li>・異物混入について</li></ul>
5/13	<ul style="list-style-type: none"><li>・6月の献立について</li><li>・ユニット配膳のお茶について</li><li>・食中毒について (ユニットでの食事保存方法)</li><li>・脱水について</li><li>・厨房床塗装工事時の献立</li><li>・空床利用の伝票について</li></ul>
6/10	<ul style="list-style-type: none"><li>・7月の献立について</li><li>・かき氷について</li><li>・職員食欠食について</li><li>・食中毒について (衛生、食品管理)</li><li>・脱水について</li><li>・厨房床塗装工事時の献立について</li></ul>
7/7	<ul style="list-style-type: none"><li>・8月の献立について</li><li>・脱水について</li><li>・かき氷について</li><li>・食中毒について (飲み物について)</li></ul>
8/12	<ul style="list-style-type: none"><li>・9月の献立について</li><li>・脱水について</li><li>・食事の常温提供について</li><li>・かき氷について</li><li>・嗜好調査について</li></ul>
9/9	<ul style="list-style-type: none"><li>・10月の献立について</li><li>・停電、断水について</li><li>・冷蔵庫の整理整頓について</li><li>・食中毒について (発生状況、予防)</li><li>・ケアノートの食事摂取量の記録について</li></ul>
10/14	<ul style="list-style-type: none"><li>・11月の献立について</li><li>・衛生チェックについて</li><li>・フレンチトーストについて</li><li>・嗜好調査結果について</li><li>・お寿司イベントについて</li><li>・クリスマスエピソード大賞について</li><li>・ノロウイルスについて</li><li>・飲み物の保管について</li></ul>
11/11	<ul style="list-style-type: none"><li>・12月の献立について</li><li>・クリスマスエピソード大賞について</li><li>・飲み物の保管について</li><li>・トロミ剤のケースについて</li><li>・感染症、食中毒について (発生状況、予防)</li></ul>
12/9	<ul style="list-style-type: none"><li>・1月の献立について</li><li>・クリスマスエピソード大賞について</li><li>・そば打ちイベントについて</li><li>・トロミ剤、ゲル化剤の使用開始について</li><li>・残飯入れについて</li><li>・水分補給について</li></ul>
1/13	<ul style="list-style-type: none"><li>・2月の献立について</li><li>・小豆粥の配膳について</li><li>・お寿司イベントについて</li><li>・そば打ちイベントについて</li><li>・食中毒について</li><li>・脱水予防について</li></ul>
2/10	<ul style="list-style-type: none"><li>・3月の献立について</li><li>・鍋の提供について</li><li>・脱水について</li><li>・食中毒について</li><li>・クリスマスエピソード大賞について</li></ul>
3/10	<ul style="list-style-type: none"><li>・4月の献立について</li><li>・食事数変更の締め切り時間について</li><li>・食中毒予防、衛生管理について (発生状況、予防)</li></ul>

### 3. 行事食について

実施日	行事	献立
4/3	春献立	たけのご飯、鯖の塩麹漬、南瓜のいとこ煮、浅漬け、けんちん汁
4/8	花まつり	桜 <sup>北</sup> の炊込みご飯、新じゃがと <sup>巧</sup> の芽の天麩羅、花形豆腐、みかん、すまし汁
5/5	端午の節句	オムライス、エビフライ、グラタン風、コンソメスープ おやつ：コイコイおやき
5/11	母の日	赤飯、天麩羅(3種)、炊き合わせ、和え物、すまし汁 おやつ：フレンチトースト
6/15	父の日 県民の日	カツカレー、コールスロー、パイナップルナッシー おやつ：苺の蒸しパン
6/26	かき氷	おやつ：かき氷
7/7	七夕	ちらし寿司、天麩羅、スイカ、すまし汁 おやつ：宇宙ゼリー(七夕)
7/11	かき氷	おやつ：かき氷
7/16	夏献立	ソース焼きそば、炭火烧つくね、スイカ、ジュース おやつ：かき氷
7/19	土用の丑の日	うなぎちらし寿司、胡瓜と白菜の浅漬け、すまし汁
8/13	お盆入り	そうめん、天麩羅3種、スイカ、りんごジュース
8/16	お盆明け	ぼためし、筑前煮、茶碗蒸し、味噌汁
8/18	屋台風	おにぎり、お好み焼き、炭火烧つくね、胡瓜の浅漬、カルピス おやつ：かき氷
8/26	かき氷	おやつ：かき氷
9/9	重陽の節句	栗ご飯、秋刀魚の生姜煮、南瓜の含め煮、卵の花(柚子)、味噌汁
9/15	敬老の日	赤飯、天ぷら、玉子焼き、和え物、すまし汁 おやつ：紅白蒸しパン
9/20	お彼岸	おはぎ風(ぼためし)、はんぺん天の野菜あんかけ、酢の物、粕汁
9/23	秋分の日	さつま芋ご飯、秋刀魚の塩焼き、煮物、焼き茄子、味噌汁
10/6	十五夜	おやつ：お月見団子(宮源 <sup>ミヤノ</sup> 粥 <sup>カシ</sup> )
10/31	ハロウィン	おやつ：南瓜蒸しパン
11/2	十三夜	月見豚井、豆腐野菜あんかけ、味噌汁
12/22	冬至	ご飯、鶏肉の香味焼、南瓜の含め煮、小松菜のポン酢和え、味噌汁
12/25	クリスマス	ミラノ風ドリア、アンダブルエッグ <sup>g</sup> 、法蓮草とコーンのバターソテー、サラダ <sup>g</sup> 、ミネストローネ おやつ：クリスマスケーキ
12/31	大晦日	年越しそば、エビの天麩羅、五目卵焼き
1/1	元旦	お屠蘇、赤飯、おせち料理、あんかけ茶碗蒸し、お雑煮風(宮源 <sup>ミヤノ</sup> 粥 <sup>カシ</sup> 使用)
1/2	お正月	五目釜飯、おせち料理、お煮しめ、すまし汁

1/7	人日の節句	七草粥、かれいのみぞれ煮、ふんわり天の煮物、酢味噌和え、味噌汁
1/11	鏡開き	おやつ：ぜんざい風（宮源ミキサー粥使用）
1/15	小正月	小豆がゆ、ふんわり天あんかけ、南瓜の含め煮、卵の花、味噌汁
2/1	初午	赤飯、鯖の塩麴焼、茶碗蒸し、しもつかれ、味噌汁
2/3	節分	巻き寿司(粥：ちらし寿司)、筑前煮、揚げ出汁豆腐、茶碗蒸し、粕汁
2/14	バレンタイン	さつま芋の和風ドリア、シーザーサラダ、フルーツカクテル、トマトスープ
		おやつ：チョコとバナナのババロア
3/3	桃の節句	ちらし寿司、春の天麩羅(うどのかき揚げ、菜の花)、和え物、すまし汁
		おやつ：3色ババロア（ひな祭り）
3/20	春のお彼岸	ぼためし、セリのかき揚げ、五目卵焼き、キャベツと桜エビの和え物、粕汁
		おやつ：3色団子（宮源粥ミキサー）

#### 4. 害虫駆除

実施日	累計実施回数	施行業者
令和7年7月29日	29回	株式会社C I C
令和8年1月6日	30回	株式会社C I C

#### 5. せきれい・認知デイサービスおやつおよび料理レクリエーションについて

実施月	内 容
4月	焼肉
6月	バナナ蒸しパン、かき氷
7月	プリンアラモード、あんこポイップサンド、かき氷
8月	かき氷
9月	さつまいも蒸しパン、フルーツあんみつ、紅白蒸しパン、かき氷
10月	パイナップル蒸しパン、かぼちゃ蒸しパン
12月	ピザパン、クリスマスケーキ
1月	おしるこ、そば打ち
2月	ドーナツ、ベビーカステラ
3月	桜もち、ちらし寿司バイキング

## 6. 栄養素報告

月	エネルギー	蛋白質	脂質	鉄	ビタミン				食塩 相当量
					レチノール	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	C	
	kcal	g	g	mg	μg	mg	mg	mg	g
4月	1599	54.3	43.2	7.8	808	0.81	1.03	122	9.0
5月	1618	59.5	43.2	8.2	779	0.88	1.04	127	8.8
6月	1648	56.9	47.7	7.7	716	0.92	1.00	123	8.0
7月	1629	56.3	48.5	7.3	730	0.91	1.00	119	8.3
8月	1622	55.8	45.5	7.9	743	0.87	0.96	112	8.2
9月	1620	57.2	46.7	7.9	800	0.86	1.01	116	8.8
10月	1649	58.2	48.5	8.0	837	0.89	1.02	113	8.6
11月	1612	53.1	45.9	7.3	800	0.84	0.96	113	8.6
12月	1602	54.6	46.0	7.7	799	0.84	1.03	121	8.6
1月	1590	53.3	44.3	7.8	781	0.79	0.99	119	8.8
2月	1600	55.3	45.4	7.5	768	0.82	1.01	108	8.8
3月	1588	53.8	44.5	7.8	829	0.79	1.03	117	8.8
平均	1615	55.7	45.8	7.7	783	0.90	1.01	118	8.6
目標	1600	60.0	45.8	6.0	650	1.00	1.00	100	9.0

※鉄は、鉄分強化のふりかけ・おやつを使用し対応

※カルシウムは、カルシウム強化のジュース・ふりかけ・おやつを使用し対応

※カルシウム強化の加工品を使用し対応

### (5) 施設内研修・勉強会

月日	研修名	内容
R7/4月	コンプライアンス研修	介護職員の為の大切なルール、コンプライアンス研修
4月	虐待防止研修	施設内虐待対応の必要性
5月	介護記録研修	24時間シート研修
6月	事故防止対策研修	事故防止の知識
6月	ケアの質の向上（業務の効率化・多職種連携）	F-SOAIIPをマスターしよう！
6月	虐待防止研修	介護において虐待を回避する方法
6月	口腔ケア研修	誤嚥性肺炎マネジメントと嚥下・新しい口腔ケア
6月	感染症対策研修	オンコール、ガウンテクニック、嘔吐物処理実践（手洗い・PPEの使い方含む）
8月	排泄支援について考える	排泄自動記録システムを使ってみよう
8月	虐待防止研修	虐待のグレーゾーンについて
8月	入浴介助研修・腰痛予防研修	天井走行型リフトの使い方
8月	褥瘡予防対策研修	ブレーデンスケールとは
9月	口腔ケア（くるりーなブラシ）	地域の歯科医と共に口腔ケアを考える、かかりつけ歯科医との連携

9月	口腔ケア研修	オーラルケア社・口腔ケア用品研修について
10月	ケアの質の向上	持ち物アプリの使い方～その1～
10月	ケアの質の向上	F-SOAIIP・記録（特記事項）の標準化について
10月	身体拘束廃止研修	身体拘束廃止について
10月	虐待防止研修	本人が希望する「身体拘束？」について
10月	ケアの質の向上	持ち物アプリの使い方～その2～
11月	介護人材キャリアパス	心理分析を活用してコミュニケーションを円滑にする
11月	ケアの質の向上	24時間シートの活用方法
11月	ケアの質の向上	内科医でも処方できる向精神薬について
12月	口腔ケア・摂食嚥下・食形態の選び方	困難事例(口腔ケアと嚥下)ラウンドすることで解決策を検証する
12月	クックチルと真空調理の違いを深める	真空調理の作り方、試食（おかゆ、さつまいもの煮物、煮魚、ブロッコリー）
12月	褥瘡予防対策研修	ブレーデンスケールとは
12月	虐待防止研修	高齢者虐待の基本的な知識について 不適切なケアと高齢者虐待について
12月	身体拘束廃止研修	介護における魔の3ロックとは
R8/1月	事故防止対策研修	カスタマーハラスメントについて
1月	感染症対策研修	手洗い、消毒、マスク着用のラウンド実践研修
1月	入浴支援	入浴支援について
1月	身体拘束廃止研修・虐待防止研修	拘束や虐待が起こるメカニズム
2月	褥瘡予防対策研修	ブレーデンスケールとは
2月	褥瘡予防対策研修	モルテンスコープの使い方
2月	事故防止対策研究	事故防止の知識
2月	身体拘束廃止研修	介護者の自己管理、楽しく介護をするために
2月	虐待防止研修	レキサルティのチェックシート 認知症に伴う行動症状のアセスメントシートについて
2月	虐待防止研修	ストレスマネジメント・アンガーマネジメント
3月	感染症対策研修	手洗い、消毒、マスク着用のラウンド個別実践研修
3月	高齢者虐待防止研修	高齢者虐待の本質を理解する
3月	看取りケア	看取りの在り方、看取り期の身体の変化

〈喀痰吸引等業務実施研修〉

・介護職員 6名

〈初任者研修〉

・介護職員 2名

〈介護福祉士実務者研修〉

・介護職員 2名

〈勉強会〉

- ・食事班 6回
- ・排泄班 6回
- ・入浴班 6回
- ・環境班 6回
- ・24Hシート班 12回

会議・外部研修・ボランティア

〈会議〉

- ・ユニットリーダー会議 12回
- ・事故防止対策委員会 6回
- ・身体拘束廃止委員会 6回
- ・感染症防止対策委員会 6回
- ・褥瘡予防対策委員会 6回
- ・喀痰吸引安全委員会 6回
- ・運営推進会議 2回
- ・衛生委員会 12回
- ・喀痰吸引研修 (1人50回×5名)

〈外部研修〉

- ・「鹿沼市総合事業について」
- ・介護支援専門員連絡会運営委員会
- ・国際福祉機器展
- ・福祉商品展
- ・鹿沼地区介護専門員運営委員会
- ・社会福祉施設採用内定者研修会
- ・ニッカネ展示会

〈サークル活動〉

なし

〈ボランティア〉

- ・大森様歌謡コンサート
- ・フランダンス・歌謡コンサート
- ・シニアリンクデーパート
- ・さつき商店
- ・手打ちそば提供、あさのは・赤羽根シヅ様のご長男様による手打ちそばの提供
- ・鹿沼市観光協会 おひなさまめぐり参加：令和8年2月8日(土)～3月4日(火)までウェブ上にて公開・施設内展示
- ・森久様のご家族、川田とき子様によるタペストリー展示
- ・絵手紙レクリエーション5月・8月
- ・ヤクルト販売 毎週月曜日
- ・下南摩にお住まいの羽山様による折り紙展示

〈クラブ活動〉

- ・手芸クラブ（フラワーアレンジメント） 3回
- ・クラフトクラブ 4回

月	フラワーアレンジメント	クラフト
R7/4月		6名
7月	7名	7名
10月		6名
11月	8名	
R8/1月		5名
2月	7名	

(6) 面会者

〈面会者〉

延べ人数		延べ人数		総合計 3,025名
R7年4月	248名	10月	297名	
5月	248名	11月	252名	
6月	203名	12月	288名	
7月	235名	R8年1月	282名	
8月	274名	2月	234名	
9月	223名	3月	241名	

(7) 理美容・外出・イベント・地域交流・見学

〈理美容サービス〉

月	人数	月	人数	月	人数
R7/4月	24名	8月	19名	12月	22名
5月	15名	9月	16名	R8/1月	15名
6月	13名	10月	22名	2月	15名
7月	28名	11月	16名	3月	20名

〈外出〉

日時	場 所	日時	場 所
R7/4月	お花見に行く（桜） 歌謡曲を聞く（歌のボランティア）	10月	ドライブに行く
5月	そばを食べに行く	11月	ドライブに行く
6月	まちの駅へ外食・買い物 あじさいを見に行く	12月	ドライブに行く
7月	ナスの収穫をする 歌謡曲を聞く（歌のボランティア）	R8/1月	初詣
8月	スイカを収穫し味わう	2月	外出なし
9月	外食に行く	3月	お花見

〈ユニット内のイベント〉

日時	場 所	日時	場 所
R7/4月	桜と菜の花を見る 歌謡曲を聞く 体操・数字並べ・塗り絵をする 誕生日会をする	10月	さつまいもをふかして食べました 体操・パズル・オセロをやる 折り紙秋のリース作る
5月	おそばを食べる 鯉のぼり・五月人形(兜)を飾る 体操・数字並べ・パズルをする ドライブをする 誕生日会をする	11月	フレンチトーストを焼いて食べる ハロウィン飾りをする 体操・パズル・オセロをやる 歌謡曲を聞く・フラダンスを見る
6月	紫陽花を見に行きお花観賞 季節の折り紙 フルーツサンド・焼きそばを作る 外食・買い物をする	12月	クリスマスの飾りつけをした クリスマスケーキ作り
7月	ナスの収穫・食べる 七夕祭り・たこ焼き、焼きそば提供 かき氷を食べる スイカを食べる	R8/1月	おせちをたべる 正月の気分を体験する
8月	夏祭り、焼きそば提供 すいか・かき氷を食べる スイカ割り トランプ・塗り絵・脳トレをする	2月	豆まきをする おひなさまかざり お誕生日会でナポリタンを焼く
9月	彼岸花を見に行く 誕生日会をやる	3月	お雛様めぐり、春の大会高校野球を見る 施設内のひな人形で撮影会 ちらし寿司バイキングをする

〈地域交流〉

- ・かき氷イベント 6/26、7/11、7/16、8/18、8/26、9/5、9/17の7回実施
- ・R7年7月13日八坂神社大祭り参加しました施設地域交流スペースにて、かき氷・お菓子配布致しました
- ・南摩地区夏祭り、お祝い協力金出しました。
- ・南摩フェスティバルへ協賛金賛出しました。
- ・地域南摩盆踊りへ寄付金出しました。

〈施設見学〉

- ・介護・看護職員の見学
- ・派遣会社の見学
- ・入所申込み・見学 (32件地域の方見学)

〈巡回歯科相談・指導事業〉

- ・早乙女歯科 15回
- ・やす・かず Charm 歯科 63回
- ・肺炎球菌接種 0回
- ・带状疱疹ワクチン 0回

(8) 短期入所生活介護事業

月	延べ利用人数	稼働率 (%)
R7/4月	387名	129.3
5月	354名	114.1
6月	370名	123.3
7月	361名	116.4
8月	426名	137.4
9月	432名	144.0
10月	463名	149.3
11月	495名	165.0
12月	489名	157.7
R8/1月	477名	153.5
2月	458名	163.5
3月	565名	182.2
年間延べ人数	5277名	
年間平均稼働率	144.6%	

※数値は各月末日時点

(9) 認知症対応型通所介護事業

月	延べ利用人数	稼働率
R7/4月	166名	53%
5月	185名	57%
6月	177名	59%
7月	180名	56%
8月	159名	51%
9月	161名	52%
10月	153名	48%
11月	126名	42%
12月	150名	50%
R8/1月	140名	49%
2月	135名	47%
3月	152名	49%

※数値は各月末日時点

年間利用者延べ人数 1,884名  
年間平均稼働率 51%

(10) 居宅介護支援事業

月	事業 対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
R7/4月	0	8	22	14	16	11	3	3	77
5月	0	4	20	16	14	10	4	3	71
6月	0	4	18	17	14	10	3	3	69
7月	0	3	18	17	15	11	5	3	72
8月	0	4	15	17	17	13	6	3	75
9月	0	5	13	17	14	12	10	3	74
10月	0	5	14	20	14	11	9	3	76
11月	0	5	13	19	15	10	9	4	75
12月	0	5	13	16	17	9	9	5	74
R8/1月	0	2	12	17	18	8	11	5	73
2月	1	6	15	28	33	20	18	3	124
3月	1	8	31	39	32	28	17	4	160
合計	2	59	204	237	219	153	104	42	1020

その他3月月後れ1名おります。

(11) 各部署からの報告

【全体】

開設から15年目を迎え、今年度はこれまで積み重ねてきた歩みを大切にしながら、これからの施設運営について見直す一年となりました。建物や設備も年月を重ねる中で、オール電化設備を中心とした施設環境の見直しを行い、これからも安心して暮らせる場所であり続けるための検討を進めました。

また、介護保険制度の改正や入居者の重度化に伴い、医療との連携や特養として果たす役割について考える機会が増えました。感染症による社会の変化は、私たちに「当たり前だったつながり」の大切さを改めて感じさせる出来事でした。再開には慎重な声もありましたが、地域夏祭りへの参加や運営推進会議での交流を通して、少しずつ地域との温かなつながりを取り戻すことができました。

また、感染症や災害が起きても、ご利用者の暮らしを守り続けられるよう、BCPへの取り組みを進め、施設としての備えを強化しました。

冬季には入院やお看取りとなる方も多く、改めて「生活の場としての特養とは何か」を考える一年でもありました。9回目となる吉國様との看取り研修では、ご家族から見た看取り介護を学びました。最期の時間をどう支えるのか、そして残されたご家族にどのような記憶を届けられるのか。職員一人ひとりが自分自身との対話の2、3種類のワークに取り組みながら、看取りケアの本来の意味を考える大切な機会となりました。

また、ホームページやInstagramでの情報発信にも力を入れました。日々の何気ない会話、笑顔、職員の関わりなど、外からは見えにくい施設での暮らしを伝えることで、かぬま四季の里のケアが見える形にする取り組みを行いました。

今年度は、15年以上勤務している職員5名の永年勤続表彰もありました。長く法人を支えてくれる職員への感謝を大切にするとともに、職員から届く声を施設づくりに活かし、課題を一つひとつ解決していく組織づくりを進めました。有給休暇取得率は91.6%。これからも、見えにくい支援を見える化し、ご利用者の喜びやささやかな笑顔を支えるチームとして、ご家族・地域・職員とともにつくる施設運営を目指し

ていきます。

### 【医務】

今年度は施設内のコロナウイルス感染は年末12月末から翌月1月にかけて入居者11名、職員14名であった。職員家族も入居者も罹患していなかった状況でご家族の面会から1ユニットの入居者とスタッフが感染拡大したと推測する。入居者、スタッフ共に回復している。インフルエンザ感染は前年度入居者0人で今年度も0名であったのは、ワクチン接種と日頃からの感染対策をスタッフが入居者に実施している結果であると考え。職員は前年度4名だったが9名に増加している、いずれも児童以下の子供を持つスタッフの家庭からの感染であったが軽快に回復し入居者への感染はなかったのは職員個人が正しい感染対策を実施していたといえる。今年度も昨年同様にノロウイルスやO-157、疥癬などの感染者はいなかったのは、定期的な感染対策委員会での働きかけが功を奏していると思われ、引き続き働きかけを続けていきたい。前年度より、感染症研修・訓練を年2回義務化された(BCP)。全員が継続した知識・行動がとれるように開催していく。感染症の対応が変化する中で、高齢者の日常生活を守る感染症対策に向き合い、なくならない感染症に備えて来年度も医務として取り組んでいく。

### 【管理栄養士】

・寿司イベントにおける充実化ができた。入居者様における寿司イベントでは、嚥下状態や体調に合わせたお寿司、食べたい寿司ネタ、苦手な寿司ネタを確認し、個々に合わせた寿司を準備することができた。デイサービス・ショートステイにおけるお寿司イベントは、はじめての試みでちらし寿司バイキングを実施することができた。どちらも、利用者様の気持ちに寄り添った個々に合わせたケアをすることで、利用者様の喜びを見える化することができた。

#### ・おやつ作りイベントの実施

デイサービスではおやつ支援週間内に、おやつ作りイベントを実施する試みを開始した。おやつ作りを通し、昔の思い出を回想することによる刺激、五感への刺激を与えることができた。また、デイサービスの職員と栄養士の距離も近くなり、小さなことでも相談しあえる関係性を構築することができた。

#### ・エピソード大賞の再開

クリスマスエピソード大賞を実施したことで、利用者様の小さくも大きなエピソードを引き出すことで沢山の笑顔と温かみのある時間を作り出すことができた。

・本年度より、トロミ剤の施設購入が開始となり宮源様のトローミファイバーが導入となった。より良い質のトロミ剤を入居者様に使用できるようになった。これを機に、宮源の高橋様を招き、トロミ剤の勉強会を実施することで介護職の方にもトロミ剤に興味を持って頂くことができた。

### 【苦情処理】

令和7年度は大きなトラブルに繋がる苦情はなかったが、特養ではご家族からのご利用者様に対する接遇での苦情があった。お客様・ご利用者様という観点から、再度声掛けの仕方や距離感、状況に応じての対応の仕方不安や不信感につながらないように介護サービスを提供していくという再認識に繋がられた。

また、毎年あるデイやショートの送迎の苦情である。イレギュラーになる事が度々ある為、その都度の連絡報告などはしているが行き違いなどもあり発生したこともあつ

た。家族にも理解していただくため契約時での十分な説明が今後も継続的に伝えなくてはならない事である。

#### 【事故発生の対応】

令和7年度は薬の事故の数が例年に比べると少し多かった。誤薬まではいかなくても飲み忘れ(落薬)や、本人が飲んだつもりでも飲んでいなかったケースなどがあった。これに関しては全職員で意識を高めて注意していく事が最善である。事故防止委員会でも毎回薬に関しての注意喚起を怠らずに啓発してきた。

内部研修はもちろん、外部の研修では新しい研修(カスタマーハラスメント)も取り組めた。今後も定期的に研修と委員会で全職員の無意識を高められるように取り組みたい。

#### 【身体拘束・虐待】

委員会の開催では継続して拘束虐待しない為のユニットごとの報告や相談をして対応できている。また、継続的に毎月の虐待・身体拘束のチェックシートを実施できている。事故等でも活用しているセンサーや機器等の活用が日常的に使用できていて身体拘束虐待防止にも通じて利用できている。今年度は眠りスキャンも増台出来て、物品や環境も前年度より充足してきている。

研修においては虐待とは身体拘束とは意外にも、自己管理をしていく事でそういったことに繋がらないようにするマインドコントロールやアンガーマネジメント等の研修も取り入れている。

#### 【ユニット】

つぐみ：利用者様が今まで通り穏やかに過ごせるように日々の会話の中で、いろんな情報を聴き取りよりよい環境作りに努め、利用者様が過ごすリビングのレイアウトづくりに努めました。楽しさの面では、イベント等の計画を考えたものの実施できませんでした。今後は、楽しんでいただけるよう努めてまいります。

さくら：ふとした何気ない会話やテレビを見ながらテレビの内容を通して会話を行い、笑顔を引き出せていたと思います。業務に追われてコミュニケーションがとりにくい状況の時見ありましたが、1日1回は一人一人の利用者様とコミュニケーションをとることができました。また職員も心に余裕を持ちお互いが居心地の良い環境づくりをすることが笑顔あふれるユニットづくりであると思い、次年度の課題だと考えています。

あおい：言葉かけ、態度であったりと忙しい介護をする中で不快な思いをさせたり、残念ながら頼みにくい環境を作って互いの信頼関係にマイナスになってしまいう場面が多く感じられました。余裕を持つことは日々の業務の中でつくることは難しい場面も多くありますが、介護業務の際中であっても聴くこと、会話する事、接する機会は多いため、日々のコミュニケーションを大切にして信頼関係をつくっていただければと思っています。

かえで：いろんな日があったなかで全てにしっかりとケアができたかというとなかなか難しい。職員のけがによる長期休暇や感染症などもあり、残された職員が欠けることなくケアにあたっていたことは楓ユニットの変化と言っていいたい。職員一人ひとりには足

りない部分はある。失敗だってある。それが一つでも減らせれば今までよりも少しでも良いケアに繋がるのではないかと思う。いろんな私達は、次にどう成長していくかが課題である。

ひいらぎ：自分らしさとは何なのか考えたが結論は出ず。利用者様の好きなもの好きなことを自由にやっていただいた。それが「らしさ」なのかはわからないが好きに自由に過ごしてほしいといつも思う。これからも同じ気持ちで取り組みたい。

けやき：お誕生会やイベント等を積極的にできたと思います。利用者様の食べたいもののリクエストを聞いて手作りして提供しすごく喜んでいただけました。

あさのは：日々の業務に追われてしまい、他の人がやってくれれば甘えが生じ、職員一人一人が自ら発信する事が少なくなってしまう。また、情報共有がしっかりと出来ていなかった。ユニット会議では、スタッフ一人一人が改善したい事、思いをしっかりと持って意見交換ができていた。今後は話し合いの場を増やし、業務改善に努め、クリスマス会のような全員が笑顔になれるイベントを行い、つねに笑顔あふれるユニットにしていきたいと思っています。

#### 【居宅介護支援事業所】

担当件数について1月までは前年比+20件程度の推移でしたが、2月に1名「まろにえ」から「かぬま」へ異動。3月に小畑ケアマネが新規入職し、再度営業活動を行った結果、大幅に担当件数増加となりました。また2月に特定事業所加算Ⅲ、3月に特定事業所加算Ⅱの算定が認められ、次年度においては更なる収益増加が見込まれます。特定事業所加算算定に伴い、他の法人が運営する居宅事業所との共同で行う事例検討などの研修会に、企画側としてかかわる事になりました（この研修会には4～5年前から参加しています）。

地域においては訪問看護や訪問リハビリ、機能訓練重視型かつ半日タイプの通所介護事業所への需要が高まっておりますが、理解判断能力の低下により入浴などを含めた身体清潔面があまり良くない利用者の増加も見られます。在宅におけるフレイル予防、健康管理のためにも、知識及び相談技術の向上に取り組んでまいります。

最後に3月に行われたBCP計画については併設施設と一体になった避難訓練計画となっており、今年度も1名CMが参加しましたが、他2名のケアマネは引継ぎの都合により残念ながら参加出来ませんでした。しかし訓練内容の共有を図った結果、在宅独居生活者のリスト化の必要性が挙げられたため、直後にリスト作成を行っています。

#### 【防災計画】

今年度は6月と11月に消火・通報・避難訓練を行い、6月の消防署員派遣訓練では消火器訓練を行った事が無い職員7名と訓練間隔が開いている職員2名を対象に消火器訓練を実施。

3月は令和6年度より義務化された風水害対策及び夜間招集訓練を含めた業務継続訓練を行い、1階の利用者を2階に避難後に1階の物品を移動。訓練終了後は課題の抽出と、非常用食品及び物品類の保管場所などに係る研修を行い、緊急連絡網の見直しも行っています。

また衛生委員会と連動して毎月ラウンドを行い、廊下の整理整頓を促し避難経路を確保する事、コンセントプラグの差しこみ不良や埃を除去し火災予防を行う事、スプリ

ンクラーヘッドから下方45cmかつ左右30cmの範囲に物品を置かない事、冬期は加湿器をコンセントから離れて設置するよう指導などを行っております。最後に令和6年度より施行された、BCP計画については、特養、短期入所、通所介護、居宅が一体となった計画になっており、今後も適宜見直しを行います。

#### 【安全衛生管理】

今年度は4月に県西地域の高齢者施設でノロウイルスの集団感染（30名）がありましたが、原因は利用者が車いすで嘔吐し、その後車いすに吐物が付いた状態で施設内を自由に移動し、通常通り食堂で食事を摂り、トイレが共用で手を洗わず、職員もガウンや手袋を着用せずに対応した事でした。ノロウイルスだけでなO-157などの食中毒対策については、職員や家族の手指消毒だけでなく、食品管理の不備などにより広まる事が多いため、毎月の衛生委員会では食品の保管状況、冷蔵庫内の清掃や賞味期限管、車いすの清掃などについても指導を行っています。新型コロナウイルスやインフルエンザ集団感染予防については、通年で全職員に出勤前の検温、体調不良者は出勤前に上司に相談及び報告、出勤時のマスクの着用、出勤退勤時に職員玄関で手指消毒、一介助一手洗い（外出時など出来ない時は配布したアルコールなどでの消毒）などを義務化しています。しかし一部職員に玄関での手指消毒未実施、介護や会話の際にマスクを適切に着用していない職員がおり、毎月の衛生委員会だけでなく適宜啓発活動と職員への口頭指導を行っています。

汚物廃棄についても改めて必ずゴミ箱の中でゴミ袋を締める事など、改めて汚物処理についてマニュアル化と職員への通達を行いました。最後に近年モバイルバッテリーやスマートフォンなど、リチウムイオン電池を使用する製品についての火災事故が多いため全職員への啓蒙活動を行い、ガイドライン及び消火方法のパンフレットを作成。職員とその家族を含め、施設内外での事故予防に努めてもらえる様に周知しました。

#### 【認知症対応型（介護予防認知症対応型）通所介護】

- ・個々の会話の中からやりたい事、やってみたい事、行きたい場所など出来るだけ希望に添えるように対応しました。手作りおやつでは、季節を感じていただけるように利用者様と色々なおやつを作り食べていただき楽しむことができました。ドライブ支援では、季節ごとにたくさんの景色を見に出かけることができ、昔話・思い出話をたくさん聞かせていただきました。

- ・クリスマスエピソード大賞では、ケーキ作りを体験したことのない方も役割をもって、協力しケーキ作りを行いました。包丁を持って果物を切る方、変わりつけを楽しむ方、味見を楽しむ方、応援に徹する方。それぞれが選んだ役割でケーキ作りに参加することで、いきいきとした明るい表情を引き出すことができました。

#### 【短期入所生活介護】

- ・持ち物のチェックに関するアプリを導入し、薬のトラブル、荷物のトラブルが減り、落ち着いて業務を行うことができました。利用者様の暮らしを支える在り方を再検討する機会を増やしました。

## 【ケアプラン】

### ①ご本人、ご家族の意向の把握、確認し多職種で共有するについて

・出来るだけ把握し看護職員、管理栄養士、介護職員等多職種に共有出来たと思います。(入所時、退院時、看取り時)

### ②ご本人、ご家族が納得、安心して施設生活を過ごさせるようにサービスやケアプランに反映させるについて

・出来るだけご本人が納得して頂けるように、サービスを入れ、ケアプランに取り入れました。ご家族に安心して頂けるように不安なこと、心配なことを聞きながら対応しました。

### ③ユニット内の問題を解決し働きやすい環境にしていくについて

・業務についてやユニット職員間のことでリーダーから相談があり、関わりましたが、改善出来たかは正直わかりません。職員の欠員（入院や感染症等）で、ユニットへ出来るだけ入るようにしましたが、ユニットの負担は大きく、あまり力になれなかったと思います。